

【日 時】 平成 26 年 2 月 17 日

【訪問先】 釜利谷東小学校 校長 古沢昇一

【概 要】 児童数 353 名 12 学級 各学年 2 学級+E 組 職員 25 人

【視察報告】

1. 校長先生のモットー

『人は努力しているときは夢を語り、努力が足りないときは不平不満を言う』 頑張っているときには目が輝き、活き活きとしているが、手を抜き始めるとうまくいかないことの原因を自分以外に求めるようになる。

2. 英語・国際教育の取り組み

片方の親が外国人の子供が数人いるが言葉の不自由な児童はいない。特別なことはしていないが、みんな溶け込んで問題はないと感じている

3. 地域のボランティアの協力

PTA 主体の守レンジャーが夜のパトロールもしてくれている。朝の通学支援はご近所の年配の人がボランティアでやってくれているが次の世代が出てこないのが課題。読み聞かせは火曜日朝に実施。水曜日 10 時半からの『本読みおばさん』は金沢図書館と連携。学校運営協議会は未実施だが、『まち憩』をやっている。

4. 地域との防災の取り組み

小学校での訓練、赤井町内会の訓練を別々にやっているが、担当の教職員は積極的に参加している。町内の訓練への学校からの児童の参加は難しい。

5. 道徳教育や郷土愛を育む取り組み

楽しくて分かる授業を行うことで、児童に出来た喜びを体感させる。授業が面白くなれば授業に関心が高まりいじめもなくなる。地域のお祭りには教師が積極的に参加して、地域に認められ児童にも良い影響がある。

6. 体力強化や部活動の取り組み

中休みに五分間マラソン。クラスで大縄跳び。サッカー、バスケのクラブは週二回朝練。金沢小・能見台南小と対抗戦がある。

7. 学校組織の強化・人材育成

メンターチームを組織して若手教師の授業の勉強会を実施している。正教員が少なすぎる。クラス担任を持たないオールマイティーな教員を一人増やしてもらえるだけで劇的に変わるはず。

8. その他

地域がしっかりと学校を見守っていこうという体制が出来ているのでとても助けられている。大雨だと校庭は池になってしまい、しばらく使えなくなるので何とかして欲しい。

【所 感】

金沢区内最大の乗降客を抱える金沢文庫西口に近接した小学校なので、防犯や安全には配慮が見られる。毎月 27 日の交番の日には、警察官から直接話を聞く機会を設けている。地域がしっかりしていると学校も落ち着いてくるとのことであった。赤井や谷津の町内はいずれもベテランの町内会長や役員のみなさんがしっかりしているし、地域のお祭りなどの行事も盛んなので子供たちを見守る体制もしっかりしているのだと感じた。

